

AV プリアンプ CX-A5000 セットアップガイド



本書では、11.2チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

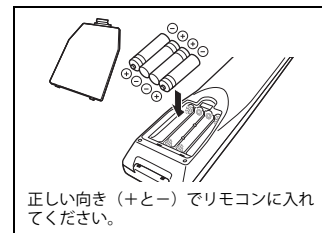
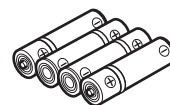
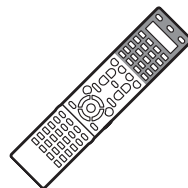
1 準備する

付属品を確認する

すべて揃っていることをお確かめください。

リモコン

単4乾電池 (4本)



電源コード

AM アンテナ

FM アンテナ

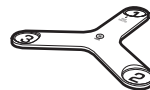
YPAO 用マイク



マイクベース

取扱説明書

セットアップガイド (本書)



YPAOの角度測定時に使います。

必要なケーブル

本機とサブウーファー、テレビ、BD/DVDレコーダーの接続

- HDMI ケーブル (2本)
- 音声用ピンケーブル (2本)
- 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブル (1本*)

* テレビがオーディオリターンチャンネル (ARC) 対応の場合は不要

本機とパワーアンプの接続

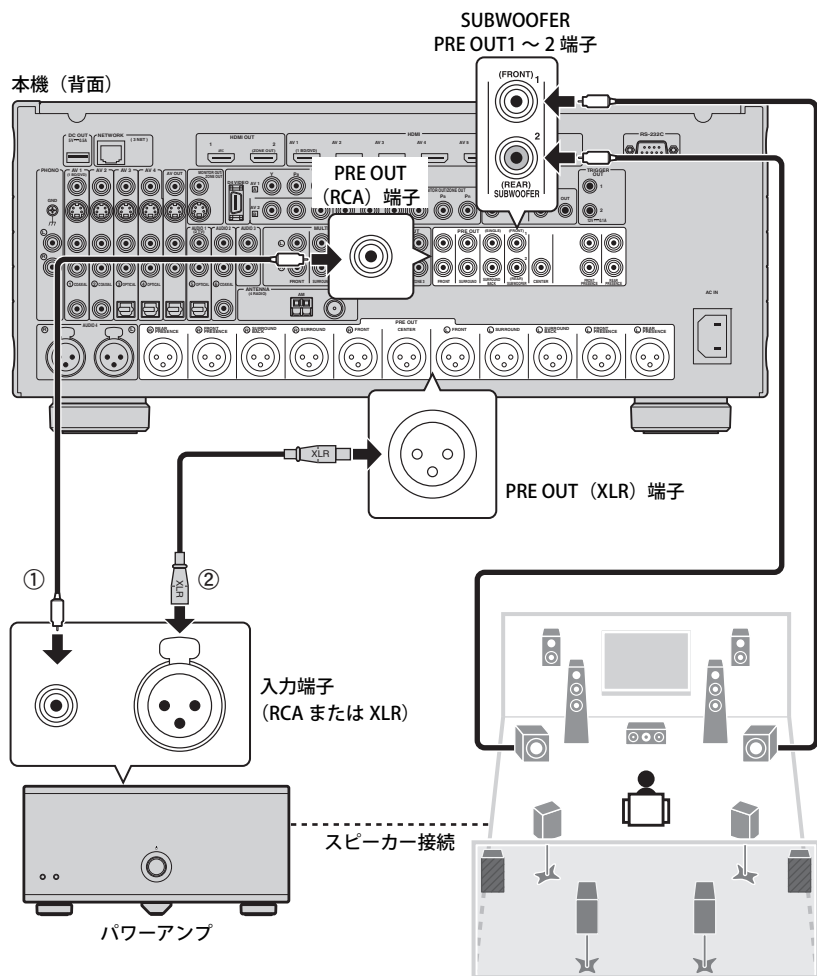
- 音声用ピンケーブル (RCA アンバランスケーブル) (11本) または XLR バランスケーブル (11本)

パワーアンプとスピーカーの接続

- スピーカーケーブル (11本)

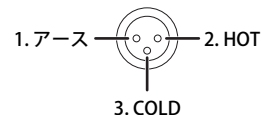
2 パワーアンプ、スピーカー、サブウーファーを接続する

パワーアンプとサブウーファーを本機に接続し、スピーカーをパワーアンプに接続します。



- サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- パワーアンプやサブウーファーを接続する前に、本機、パワーアンプ、サブウーファーの電源プラグをコンセントから外してください。
- 本機の XLR 出力端子のピン割当は以下のとおりです。XLR バランスケーブルを接続する前に、パワーアンプの取扱説明書を参照し、以下のピン割当に対応していることをご確認ください。

XLR 出力端子



- 1 本機の PRE OUT 端子とパワーアンプの入力端子を、チャンネルごと (全 11 チャンネル) に接続する (① または ②)。

アンバランス接続の場合 (①) は、音声用ピンケーブル (RCA アンバランスケーブル) を使って、本機の PRE OUT (RCA) 端子とパワーアンプの入力 (RCA) 端子を接続する。

バランス接続の場合 (②) は、XLR バランスケーブルを使って、本機の PRE OUT (XLR) 端子とパワーアンプの入力 (XLR) 端子を接続する。

- 2 音声用ピンケーブルを使って、本機の SUBWOOFER PRE OUT1 ~ 2 端子にサブウーファー (アンプ内蔵) を接続する。

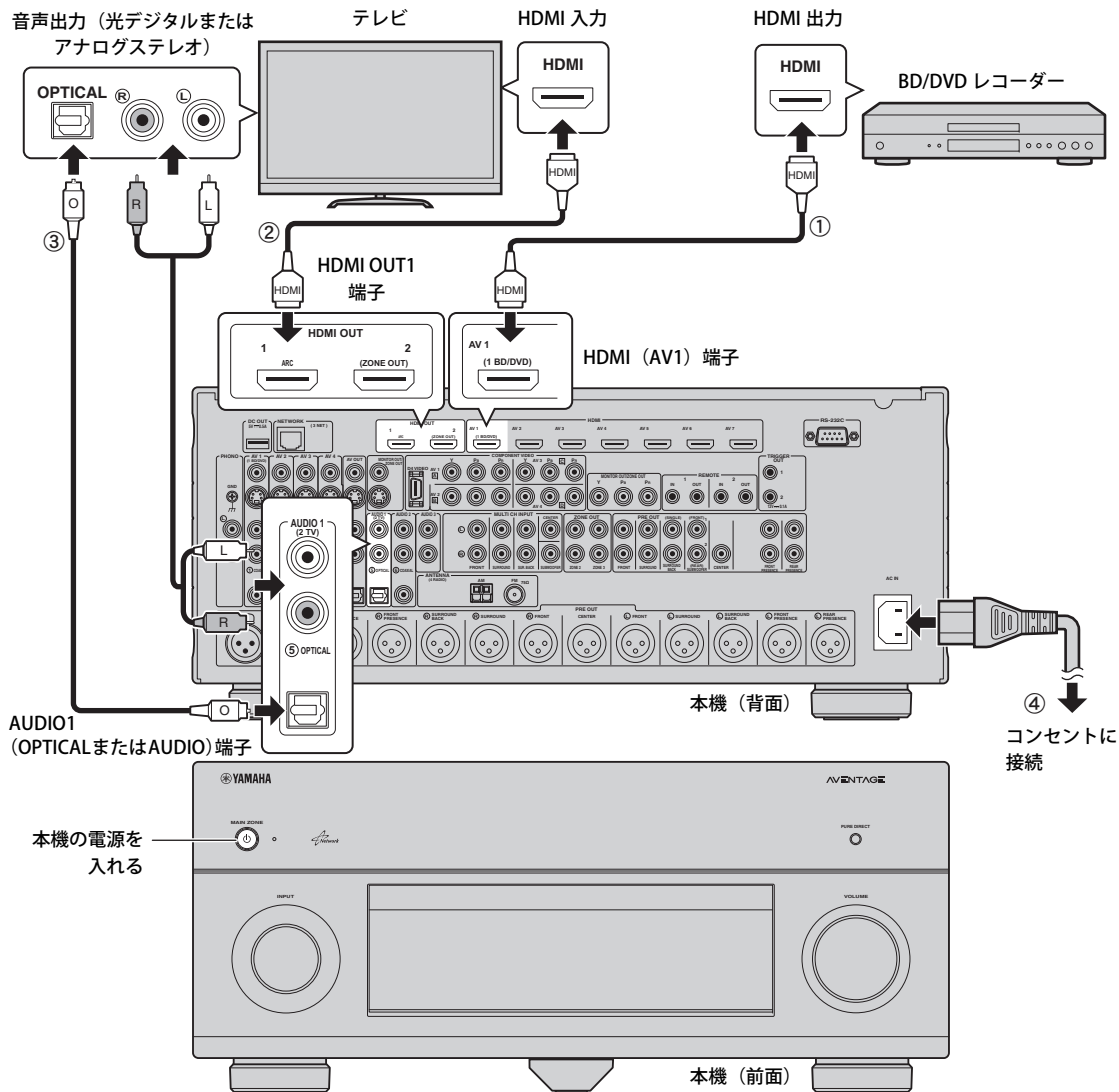
- 3 パワーアンプのスピーカー端子に各スピーカーを接続する。

スピーカーの接続方法については、パワーアンプとスピーカーの取扱説明書をご覧ください。



- パワーアンプによっては、本機の音声をスピーカーで再生するのに、パワーアンプの設定を変更する必要があります。
- 2 台のサブウーファーを接続し、お好みで部屋の前後または左右に設置できます。サブウーファーを 2 台接続する場合は、電源コードを接続後、設定メニューの「サブウーファー配置」を設定してください。詳しくは、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。
- システム接続に対応しているパワーアンプ (ヤマハ MX-A5000 など) やサブウーファーをお使いの場合、モノラルミニプラグケーブルで本機と接続すると、本機の操作 (電源入 / 切など) に連動してそれらの機器の電源を制御できます (トリガー機能)。詳しくは、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

3 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

① HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーと本機を接続する。

HDMI ケーブルで BD/DVD レコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビからケーブルを取り外して、本機に接続してください。

② HDMI ケーブルでテレビと本機を接続する。

③ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブルでテレビと本機を接続する。

この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。

④ 付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



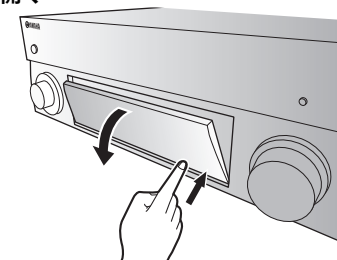
・ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」をご覧ください。

2 本機、パワーアンプ、テレビ、BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

前面カバーを開く



カバーの下側をそっと押す。(指をはさまないようご注意ください。)

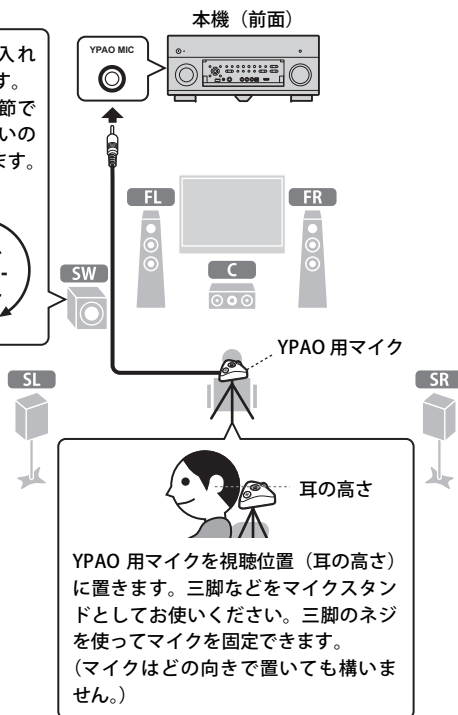
4 スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

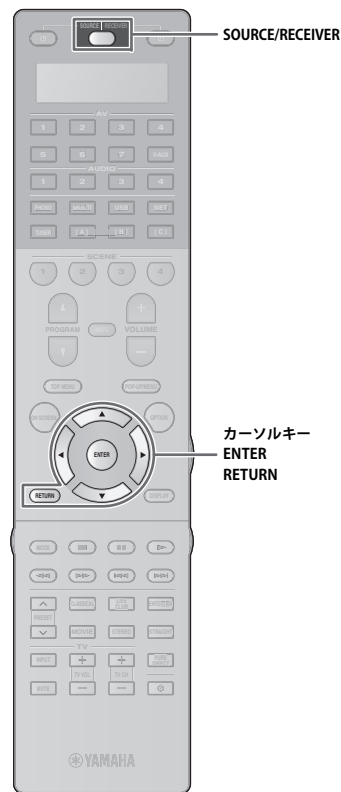
- ・測定中は大きな音が出されます。小さなお子様がいいらっしゃる場合は十分に配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- ・測定中は音量を調節できません。
- ・測定中は部屋を静かに保ってください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。
- ・測定中は部屋の隅に移動するか退室して、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約3分です。

YPAO を始める前の準備

サブウーファースの電源を入れて、音量を半分に調節します。クロスオーバー周波数を調節できるサブウーファーをお使いの場合は、周波数を最大にします。



YPAO 用マイクを視聴位置 (耳の高さ) に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。(マイクはどの向きで置いても構いません。)



1 YPAO 用マイクを前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。

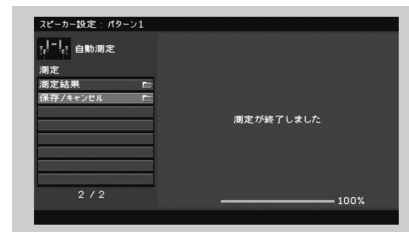


- ・操作を中止する場合は、測定前に YPAO 用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- ・カーソルキーで操作できない場合は、SOURCE/RECEIVER キーを押してキーをオレンジ色に点灯させてから操作してください。
- ・エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- ・警告メッセージ「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合は『「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合』(次ページ) をご覧ください。

- 3 カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。



- 4 カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。



- 5 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

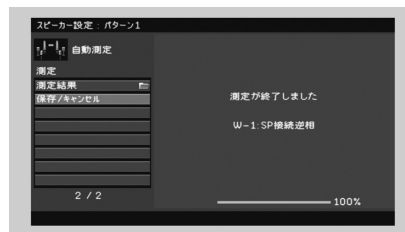
YPAO 用マイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。

バランス接続をご利用の場合

- 本機とパワーアンプの XLR 端子のピン割当てが異なっている可能性があります。その場合は、本機とパワーアンプの電源を切り、パワーアンプのピン割当てを変更するか、アンバランス接続で本機と接続し直してください。その後、もう一度 YPAO を実行してください。



- カーソルキーで「測定結果」を選び、ENTER キーを押す。
- カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。
- 「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続（+と-）を確認する。

正しく接続されている場合：

スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1: SP 接続逆相」が表示されることがありますが、そのままお使いください。RETURN キーを押してから、手順 3 以降を実行して設定を保存してください。

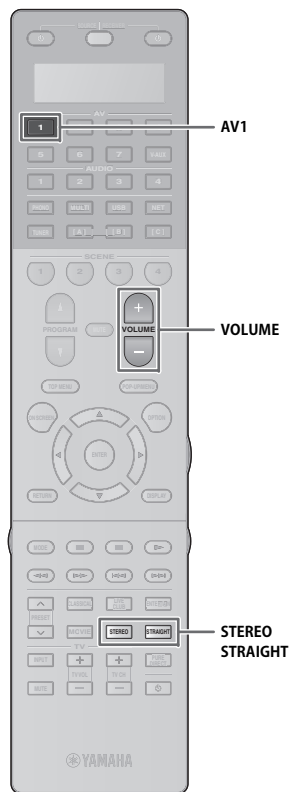
間違って接続されている場合：

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

5 BD/DVD を再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 AV1 キーで本機の入力を「AV1」に切り替える。



2 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

3 STRAIGHT キーを繰り返し押し続けて「STRAIGHT」を選ぶ。



- すべてのスピーカーから音が出るか確認するには、STEREO キーを繰り返し押し続けて「11ch Stereo」を選んでください。

4 VOLUME キーで音量を調節する。



これで 11.2 チャンネルシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声がサラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない BD/DVD レコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。

PCM など、常に 2 チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

さらにこんな機能も!

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分にご活用ください。

BD/DVD レコーダー以外の機器を接続する

CD プレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせて好みの音場プログラム (シネマ DSP) やサラウンドデコーダーを選べます。

iPod の曲を再生する

iPod 付属の USB ケーブルを使って、iPod の曲を本機で再生できます。

■ FM/AM ラジオを聴く

■ USB 機器の曲を再生する

■ パソコン (サーバー) の曲を再生する

■ インターネットラジオを聴く

■ iTunes/iPod の曲をネットワーク経由で再生する (AirPlay)

詳しくは「本機でできること」をご覧ください。

